

第7回海外投融資委員会議事要旨

1. 日時

平成24年2月6日（月）14:00～16:00

2. 場所

国際協力機構本部6階特別会議室

3. 出席者

（海外投融資委員会委員）浦田委員長 赤羽委員 荒木委員 佐藤委員 長島委員 前田委員 横尾委員、及び JICA

4. 議事・報告

(1) 議事

- ・ ロンアン省環境配慮型工業団地関連事業に係る審査前審議
- ・ 南アジアでのマイクロファイナンス事業に係る審査前審議

(2) 報告

パイロットアプローチレビュー概要

5. 議事の要旨

(1) ロンアン省環境配慮型工業団地関連事業 審査前審議

議題の案件に関して審査前の審議を行った。委員からの主な質疑応答は以下のとおり。

（委員）

- ・ 本事業で実施する排水につき、排水の国際基準、モニタリング方法、工業団地の排水処理体制等を確認し、本事業が河川汚染につながることはないよう配慮する必要がある。
- ・ 工業団地造成時の住民移転の状況如何。

（JICA）

- ・ 環境関連及び住民移転については、当該工業団地会社がベトナム国内法に則り、Environmental Impact Assessment (EIA) を作成し、一部承認取得済み。残りは、現在承認申請を行っている。
- ・ 環境関連、住民移転の詳細については、審査時に確認する。

(委員)

- ・ 工業団地の入居企業の見通し如何。入居の進捗に応じて事業計画修正の柔軟性、可能性はあるか。
- ・ 『環境配慮』型事業とすることで高コスト体質になり、他工業団地との競争性が失われることはないか。

(JICA)

- ・ 入居企業及び他工業団地との競争性の詳細については審査で確認する。

(委員)

- ・ ベトナムの裾野産業の育成や日本の中小企業支援に係るベトナム政府及び日本政府の政策との整合性如何。

(JICA)

- ・ 本事業対象となる工業団地は、公害指定産業の企業入居も排除していない。それらには、ベトナムの主要輸出産業を支える業種が含まれているが、現在操業可能な地域・工業団地が極めて限られている状況。それらの産業の投資環境改善に寄与するものと考えている。
- ・ 当該工業団地には、日系の中小企業を入居者として誘致する予定。また、日本の中小企業支援策として、行政手続き代行や法律相談等のサービスをワン・ストップで提供するべく技術協力の実施を検討している。

(3) 南アジアでのマイクロファイナンス事業 審査前審議

議題の案件に関して審査前の審議を行った。主な質疑応答は以下のとおり。

(委員)

- ・ 各株主出資比率、退出の方針如何。
- ・ JICA が本事業に参画する必要性・理由如何。
- ・ 当該マイクロファイナンス銀行の顧客女性比率が 2010 年に落ち込んでいる理由如何。また、貧困層向けより都市ビジネス向けが多いと見えるが、その点につきどう考えているか。

(JICA)

- ・ 出資者については国際機関・NGO 等が参画予定。その他については今後協議・確認する。
- ・ 2点目について、本事業は国際協調の実現にも寄与すると考えている。
- ・ 女性比率については審査で確認することとする。貧困層向けが少ない点については、治安情勢の不安定な当該国で、出資先銀行のある程度強固な事業基盤を確立するにも、都市ビジネス向けのローン提供は必要と考える。

(4) 報告の要旨

JICA より海外投融資パイロットアプローチのレビュー方針(案)につき説明。

以上